

平成30年1月15日

非血縁者間

骨髓採取認定施設

採取責任医師 各位

麻酔責任医師 各位

公益財団法人 日本骨髓バンク
ドナー安全委員会

非血縁者間骨髓採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルについて(通知)

拝啓

時下、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より骨髓バンク事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本邦における非血縁者間骨髓採取術において、膀胱留置カテーテル挿入時に尿道を損傷し、採取後12日目に大量出血した事例が報告されました。

本件に関しては、留置手技時の確認に問題があると考えられますが、当法人ドナー安全委員会において今後の対策を検討した結果、骨髓採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルについては、手術時間が長時間には及ばないこと、元来健康な方に対する麻酔であること、近年の早期離床促進などの観点から、必ずしも留置する必要はないとの意見を受け、以下の方針とすることといたしました。

方針：骨髓採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルは、麻酔科医師あるいは採取担当医師(責任医師)が必要と判断する場合のみ留置する。

なお、公益社団法人 日本麻酔科学会より上記方針を認めるとの見解をいただいておりますことを申し添えます。(添付)

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、特段のご高配・ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

本件に関する問い合わせ先

(公財) 日本骨髓バンク

ドナーコーディネート部 担当：折原

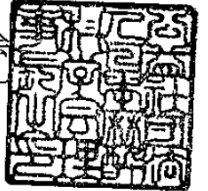
TEL：03-5280-2200

FAX：03-5283-5629

JSA-1712-管理-12
2017 年 12 月 5 日

公益財団法人 日本骨髄バンク
理事長 齋藤 英彦殿

公益社団法人 日本麻酔科学会
理事長 稲田 英一



非血縁者間骨髄採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルについて

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成29年11月13日付け骨髄 第29-174号について、本学会で検討した結果、貴法人の方針を認めますことをご連絡申し上げます。

謹白

一般社団法人 日本麻酔科学会
理事長 稲田 英一殿

公益財団法人 日本骨髓バンク
理事長 齋藤 英



非血縁者間骨髓採取ドナーに対する膀胱留置カテーテルについて
(ご依頼)

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、骨髓バンク事業の推進に格段のご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本邦における非血縁者間骨髓採取術において、膀胱留置カテーテル挿入時に尿道を損傷し、採取後10日目に大量出血した事例が報告されました。

本件に関しては、留置手技および確認に問題があると考えられますが、当法人ドナー安全委員会において今後の対策を検討した結果、骨髓採取ドナーに対する膀胱カテーテルについては、手術時間が長時間には及ばないこと、元来健康な方に対する麻酔であること、近年の早期離床促進などの観点から、必ずしも留置する必要はないとの意見があり、同委員会より以下の方針(案)が示されました。

方針(案)：骨髓採取ドナーに対する膀胱カテーテルは、
麻酔科医あるいは採取担当医(責任医)が必要と判断する場合のみ留置する。

つきましては、誠に不躰なお願いでございますが、上記方針(案)につきましてご専門のお立場から貴学会の見解をお伺いさせていただきたくご依頼申し上げます。

ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、特段のご高配・ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

■本件に関するお問い合わせ先
公益財団法人 日本骨髓バンク
ドナーコーディネート部 担当：折原
TEL：03-5280-2200 FAX：03-5283-5629